

# 令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
4 6	瑞浪高等学校

<p>学校教育目標</p>	<p>誠実で、自主的・自立的な人間を育成する</p> <p>1 誠実な態度を尊び、誠意ある人間関係を築く &lt;規範意識の高揚と自立性の育成・・・責任と役割の自覚&gt;</p> <p>2 生きる力を育み、一人一人が自己実現を図る &lt;主体的な自己学習力の育成・・・基礎的基本的な学力の定着&gt;</p> <p>3 健康でたくましい心身と、豊かな人間性を培う &lt;実践を通じた健全な心身の育成・・・豊かなコミュニケーション能力の育成力&gt;</p>		
<p>スクール・ポリシー</p>	<p>『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（G P）</p> <p>①自己の目標を実現するために、さまざまな可能性や夢に向かって挑戦し、「未来を切り拓く心」を持った生徒</p> <p>②挨拶などの基本的な社会性を身に付けるとともに、自利利他の精神を持って自分と他者を大切にできる、人間性豊かな生徒</p> <p>③自らの役割を考え、自らの信念を持って主体的・能動的に行動し、地域や社会に貢献できる生徒</p>	<p>『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（C P）</p> <p>①生徒一人一人の良さや夢を大切にするための多様な科目の開講や少人数授業、瑞高塾等での個々に応じた学びの推進</p> <p>※瑞高塾：進学・就職を問わず進路目標実現のために実施する補習や個別学習指導、小論文指導などの総称</p> <p>②授業やクラス活動、部活動の中でのコミュニケーション能力や、他者との関わりの中での人間的成長の涵養</p> <p>③普通科・生活デザイン科における地域探究やボランティア活動などを通じての、生徒一人一人が活躍できる場の設定と自己有用感の育成</p>	<p>『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（A P）</p> <p>①「自分の夢」を持ち、それを叶えるための「志」を持った生徒</p> <p>②素直で思いやりがあり、「何事にも挑戦する意欲」を持った生徒</p> <p>③「人の役に立ちたい」という気持ちを持った生徒</p>
<p>教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)</p>	<p>重点目標の達成に必要な具体的取組、方策</p>		<p>達成度の判断、判定基準あるいは評価指標</p>
<p><b>1 学習指導</b></p> <p>生徒の自己有用感が高まり、授業への満足度が向上するようICTの効果的な活用及び指導方法を工夫し、さらなる授業改善を進めます。</p>	<p>① テーマを設定した公開授業週間を年2回実施し、「主体的、対話的で深い学び」の視点からの授業研究と実践を重ね、授業改善を進めます。</p> <p>② 基礎学力の定着のために、家庭学習習慣の確立を目指します。また、成績不振者や教育的配慮の必要な生徒等への対応を丁寧に行います。</p> <p>③ 単位制の本格的運用と新学習指導要領の実施に向けた教育課程の編成を進めます。学校独自の科目を増やし、本校の実態に合った指導計画及び適切な評価ができるよう考えていきます。</p> <p>④ ICT環境の充実に伴い、ICTの積極的な活用を行い、効率的で効果的な授業の工夫を行います。</p>		<p>① 生徒による「授業アンケート」及び教員の「公開授業週間プリント」による振り返り。</p> <p>② 家庭学習時間調査の結果及び定期考査の分析。本校の教育方針に合わないことによる転退学者を0%にする。</p> <p>③ 新学習指導要領の下で開講する、学校設定科目の年間指導計画及び評価規準の作成とその批評。</p> <p>④ 生徒用タブレットの活用状況調査及び「授業アンケート」による振り返りが、概ね「良好」となるような結果。</p>

教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
<p><b>2 生徒指導</b></p> <p>主体的に判断し、行動しようとする態度や、自己を生かす能力を育成するとともに、家庭や地域社会、関係諸機関との連携強化を目指します。</p>	<p>① 学校生活のさまざまな場面で、「大人」としての行動を考えさせることで基本的な生活習慣の確立を促し、自らの言動に責任が持てるような支援を行います。</p> <p>② 学習と部活動の両立、MSリーダーズ活動やボランティア活動、さまざまな地域の行事等への参加を通じて、社会連携意識を培うとともに、自己有用感、自己肯定感を高める取組をします。</p> <p>③ 家庭や中学校、関係機関等と情報を共有し連携を強化しながら、生徒理解に努めるとともに、個に応じた(発達障がいだけでなく、人種や国籍、LGBTにも配慮した)合理的配慮に基づく指導を充実し、個々の健全育成を目指します。</p>	<p>❶ 「学校評価アンケート」における「生徒指導」項目の回答結果。</p> <p>❷ 諸活動の事後アンケートの結果分析。</p> <p>❸ 「学校評価アンケート」における「家庭との連携」及び「教職員」項目の回答結果。</p>
<p><b>3 進路指導</b></p> <p>多様な進路を志望する生徒に対し、一人一人の適性を把握し、適切な進路実現ができるよう、全職員で関係・統一した進路指導を行います。</p>	<p>① 3年間を見通した計画的なキャリア支援により進路意識を高めさせるとともに、「総合的な探究の時間」において地域探究活動を積極的に取り入れ、課題設定や解決能力を高めるとともに、次代を担う「生きる力」を育みます。</p> <p>② 進路志望調査の定期的な実施や進路関係行事、外部模試等により、自己の将来を見つめる機会を設け、自己の将来への適切に選択できる能力を養います。</p> <p>③ オープンキャンパスや企業見学等への積極的な参加を促し、自己の可能性に気付かせるとともに、主体的な進路決定力が身に付けられる進路支援の充実を図ります。</p>	<p>❶ 普通科及び生活福祉科(生活デザイン科)における適切なコース選択(授業の満足度等)</p> <p>❷ 2年時「進路志望調査」における、「未定」者を5%以下にする。</p> <p>❸ 生徒の進路志望の実現を100%にする。</p> <p>❹ 探究活動におけるアンケート調査。</p>